

造船学術研究推進機構
2025年度交付研究テーマ

No.	氏名	大学名(職名)・所属	研究テーマ
1	朴 炫珍	北海道大学(助教) 工学研究院 機械・宇宙航空部門 流れ制御研究室	サイクロローター機構を応用した推力方向を制御可能なローター帆の開発
2	田原 淳一郎	東京海洋大学(教授) 海洋工学部 海洋電子機械工学科	ボイド論を用いた小型モジュール型ASVシステムの開発 -次世代小型海上作業ユニット実証-
3	和田 良太	東京大学(准教授) 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻	海洋環境保全システムの開発に関連する研究 DOC(Direct Ocean Capture)の技術ロードマップ策定に関する研究
4	水島 嘉孝	東京大学(博(1)) 新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻	海洋再生可能エネルギーの開発に関連する研究 —浮体係留におけるトッブチェーンへの面外荷重(OPB)を考慮した疲労設計について
5	高野 哲秀	北海道大学(博(1)) 工学院エネルギー環境システム	船舶の燃費低減・脱炭素技術に関連する研究 複雑流体の乱流特性を明らかにする渦粘度プロファイラの開発
6	藤 公博	九州大学(助教) 大学院工学研究院海洋システム工学部門	GNSS を用いた船体変形および喫水計測技術の確立
7	小平 翼	東京大学(講師) 大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻	LPWA通信を用いた分散協調型の海洋観測システムの実現可能性評価
8	松田 和貴	九州大学(准教授) 工学研究院 海洋システム工学部門	船体構造の合理化及び長寿命化に関連する研究
9	柏木 俊樹	広島大学(社・博(1)) 先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログ	先進的EFDとCFDを用いた抵抗増加低減船首の流体力学的メカニズム解明
10	吉村 怜	大阪大学(博(2)) 工学研究科 地球総合工学専攻	ポイントアブソーバー型波力発電ファームの最適制御のための相互干渉を考慮したリアルタイム 浮体動揺 予測手法の開発
11	久松 稜弥	九州大学(助教) 工学研究院 海洋システム工学部門	浮体の有限振幅運動解析のための理論基盤の構築
12	高見 朋希	神戸大学(准教授) 海洋政策科学部 海事科学研究科 海洋応用科学領域	機械学習を用いた耐航性コードの学習による波浪推定技術の高度化
13	脇田 康希	大阪大学(博(3)) 工学研究科 地球総合工学専攻	港内操船の操縦運動モデル推定のためのシステム同定法と実験計画法について
14	勝村 佳司	大阪大学(修(1)) 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 船舶海洋工学コース	ベイズ推定を用いたロバストな自動船位保持システムの開発に関する研究
15	米田 昇平	東京海洋大学(准教授) 学術研究院 海洋電子機械工学部門	超電導コイルと銅コイルを用いた大容量ワイヤレス給電システムの基礎検討
16	登尾 悠平	大阪大学(修(2)) 大学院工学研究科地球総合工学専攻	船舶・海中機器のロバストな制御器の自動設計手法の確立 -線形行列不等式を用いた制御設計アプローチの船舶海洋工学への適用-
17	公江 仁一	神戸大学(特命教授) 大学院海事科学研究科 海洋応用科学領域	潮流シミュレーションを活用したエネルギー効率型最適化を目指した船舶衝突回避アルゴリズムの開発
18	中島 拓也	東京大学(助教) 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻	船舶の安全航行に関連する研究 -インシデント情報からの知識抽出と自動運航船リスク評価モデルの構築-
19	荒西 智瀬	東京海洋大学(修(2)) 大学院海洋科学技術研究科 海運ロジスティクス専攻	船舶の安全航行に関する研究
20	酒井 政宏	大阪大学(准教授) 大学院工学研究科 地球総合工学専攻	機械学習を活用した新しい模型実験解析法の開発 —横揺れ運動時の船体に作用する流体力の推定—
21	今野 義浩	東京大学(准教授) 大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻	海洋環境保全システムの開発に関連する研究 —洋上風力エネルギーを利用した二酸化炭素貯留システムの提案—
22	永井 弘人	長崎大学(准教授) 総合生産科学域 システム科学部門	ローターセイルによる渦励起振動が船体運動・振動に与える影響
23	桑田 敬司	東京海洋大学(教授) 海洋工学部 海洋電子機械工学科	船用2ストローク主機関における掃気室火災の予兆の検知に関する研究
24	関口 政宗	東京大学(修(1)) 大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻	格子ボルツマン法を用いた浮体式ウインドファームにおける渦励起動揺とウェイクの相互影響に関する研究